

教育委員会の点検・評価報告書

(平成27年4月～平成28年3月対象)

平成28年6月

館山市教育委員会

点検・評価報告書

1 点検・評価の期間

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

2 点検・評価の方法

(1) 館山市教育基本計画(平成24年度～平成28年度)の事務事業の進捗状況等をもとに、自己点検・評価を行いました。

(2) 教育に関し学識経験を有する者(館山市PTA連絡協議会関係者、学校評議員の代表、館山市社会教育委員会委員、館山市体育協会関係者の4名)の意見を聴取し、点検・評価の客観性の確保に努めました。

3 点検・評価の結果

別紙のとおり

4 点検・評価の一般への公開

館山市ホームページにて公開

I 学校教育の充実

第1節 幼児教育の充実と子育て環境の充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭，保育園，こども園，幼稚園，小学校，地域との連携・協力を図り，幼児期の一貫した教育を推進するとともに，教具や遊具などの施設整備を計画的に進めます。 ・就園前の幼児・保護者との交流機会の提供や預かり保育を積極的に行うとともに，子育てに必要な情報提供に努め，幼稚園の「子育て支援センター」としての機能の充実を図ります。 ・世帯の状況に応じて保育料等経済的負担の軽減を図り，教育環境の充実を図るため，適切な補助を行います。 ・幼稚園の運営支援や，研究園の指定によるカリキュラムの調査研究など，幼児教育の充実に努めます。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
幼児教育の充実 【学校教育課・図書館・こども課】	<p>「子育て家庭を支援するまち」・「子どもを産み育てたくなるまち」の実現を目指し，交流保育や預かり保育，幼保一元化の推進，各種事業の継続などの幼児教育の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ちびっ子デー（未就園児の入園体験）の実施 ■幼稚園・保育園・こども園・小学校との連携 ■子育て支援センターとしての機能充実 ■預かり保育の実施 ■研究園の指定 <ul style="list-style-type: none"> 平成 24・25 年度 北条幼稚園 平成 26・27 年度 那古幼稚園 館野幼稚園 平成 28・29 年度 館山幼稚園 ■幼保一元化事業：船形こども園，九重こども園（平成 25 年度開園） ■おはなし会，わらべうたの会の開催
実施状況	<p>【図書館】</p> <p><おはなし会，わらべうたの会の開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会（児童向け） 実施回数 25 回 参加者 470 人 ・おはなし会（幼児向け） 実施回数 10 回 参加者 107 人 ・わらべうたの会（乳幼児向け） 実施回数 10 回 参加者 112 人 <p>【幼稚園・こども園】</p> <p><ちびっ子デー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間 5 回（こども園は 1 6 回）未就園児とその保護者を対象に体験入園を実施しました。 ・保護者同士の情報交換の場にもなっており，必要に応じて保護者からの子育ての悩みや園生活についての相談にのりました。 <p><幼稚園・保育園・こども園・小学校との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や避難訓練，観劇などの小学校行事に参加しました。 ・近隣の園との交流会を実施しました。 <p><子育て支援センターとしての機能充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に教育相談，子育て相談を行い，保護者の悩みを共感し，子どもの成長を伝えていくことで，子育ての喜びを感じてもらえるよう取り組みました。 ・「元気な広場」の出張子育てひろばを開催しました。（船形こども園） <p><預かり保育の実施></p>

	<p>・14:00～15:00に指導計画に基づいて実施しています。</p> <p><研究園の指定></p> <p>・平成26・27年度に研究園に指定された那古幼稚園と館野幼稚園では、友達のよさに気付き協同して遊べる子どもを目指して、合同で研究に取り組みました。</p> <p><おはなし会、わらべうたの会の開催></p> <p>・ボランティアによる読み聞かせを実施しています。</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【図書館】</p> <p><おはなし会、わらべうたの会の開催></p> <p>○成長に応じて本を楽しむ機会を提供することで、本を通じて親子のコミュニケーションが深まり、子どもが本の楽しみを知り読書へとつながるという効果がありました。「英語で楽しむおはなし会」では、企画課と連携しながら英語を交えたおはなし会ができました。また読み聞かせ等ボランティア活動も継続され、子どもたちと地域の住民との交流も生まれています。</p> <p>◆引き続き事業の継続と、協力してくれるボランティアの養成や研修の必要があります。</p> <p>【幼稚園・こども園】</p> <p><ちびっ子デー></p> <p>○入園前の不安や子育てに関する悩み等が解消できました。</p> <p><幼稚園・保育園・こども園・小学校との連携></p> <p>○児童と園児、職員同士の親交が深まりました。</p> <p>○園外に出ることで、緊張感や他の施設の利用などを体験できる場になりました。</p> <p><子育て支援センターとしての機能充実></p> <p>○個別に教育相談、子育て相談についてのアドバイスを行ったことで、保護者が自分の子育てを振り返ったり、子どもの発達に見通しをもつことができ、子育ての不安を解消することができました。</p> <p>○出張子育てひろばを開催することで支援センターとしての認知度が上がり、来園者や相談者が増えました。</p> <p><研究園の指定></p> <p>○2園合同研究では、幼児が協同的な活動に取り組むまでの育ちの過程を探り、必要な教諭の援助や環境構成を明確にし、実施したことでコミュニケーション能力の育ちにつなげることができました。</p>
<p>子育て環境の充実 【こども課】</p>	<p>幼稚園教育の充実や円滑な管理運営のための教育環境整備、世帯の状況に応じた経済的な支援など、子育て環境の充実に努めます。</p> <p>■教具・遊具などの計画的な整備</p> <p>■世帯の所得に応じた保育料等の経済的負担の軽減</p>
<p>実施状況</p>	<p>【幼稚園・こども園】</p> <p><教具・遊具などの計画的な整備></p> <p>・毎月1回、全職員で安全点検を実施し、危険個所や不具合等について早期発見に努め、迅速な対応をしています。</p> <p>・点検結果を基に、危険な遊具等を撤去し、新しい遊具を設置しました。</p> <p>・専門業者による遊具点検を行いました。(西岬幼稚園・豊房幼稚園・館野幼稚園・船形こども園・九重こども園)</p> <p>【こども課】</p> <p><世帯の所得に応じた保育料等の経済的負担の軽減></p> <p>・子ども・子育て支援法に基づき、保護者に対して保育料等の経済的負担</p>

	の軽減に努めました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p><教具・遊具などの計画的な整備></p> <p>○定期的な安全点検の結果、早期に遊具等の不具合が発見できました。</p> <p>○専門業者による遊具点検により、遊具の安全確保及び適正な管理ができました。</p>

第2節 教育内容の充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視した教育を推進します。 ・平成23年度から完全実施された小学校における外国語活動の充実に向け、配置するALTを最大限活用し、外国語教育、国際理解教育をさらに推進します。 ・現代的課題に対応すべく、マイスクールボランティア等、地域の教育力を積極的に活用した教育を推進します。 ・健康・体力づくりを推進します。 ・一人ひとりの特性やライフステージ、教育的ニーズに対応した学習支援のための支援員を配置するなど特別支援教育体制を整備します。 ・幼稚園・保育園の適正な規模や運営形態について検討します。 ・学校給食センターの栄養士による、食に関する指導事業を実施します。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
「生きる力」を育成する教育の推進 【学校教育課・図書館】	<p>「生きる力」の育成を目指し、「確かな学力」の育成のため、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、授業時数の確保、学習意欲の向上や学習習慣の確立、また、「豊かな心」「健やかな体」の育成のため、読書活動・道徳教育の充実、体験活動の充実、体育・食育の充実等を推進し、特色ある教育課程の編成を進めます。</p> <p>■学力向上プロジェクト委員会を通して、各校の具体的な取組を推進</p> <p>■道徳教育充実のための市独自の教材作成</p> <p>■読み聞かせ・ブックトーク、学習支援及び資料の団体貸出事業</p>
実施状況	<p>【学校教育課・小中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上推進コーディネーター」事業により、第一中学校区及び第二中学校区にコーディネーターを配置し、小中学校区が連携した教育を実践しました。(H27年度新規事業) ・学力向上プロジェクト委員会を中学校区の小中学校で開催しました。 ・中学校区の小学校が連携し、国語や算数の基礎学力の定着を図る取組(「漢字計算オリンピック」「漢字チャレンジ・算数チャレンジ」)を行いました。 ・中学校区で、授業改善や指導力向上に向けて授業参観を行いました。 ・教師の指導力向上のため、また、若手教員育成を兼ねて、県教委の要請訪問(県教委の学校への訪問)を実施しました。 ・家庭学習の充実を目指し、「家庭学習のすすめ」を全家庭に配布するとともに、その状況把握のための調査を実施しました。 ・ボランティア、地域学習サポーターによる読み聞かせを実施しました。 ・市図書館を積極的に利用しました。(移動図書館の利用を奨励) ・「進んで学習する子」を目指した自主公開研究会を年2回実施しました。 ・地域の特性を活かし、いちご農家の方を講師として、5年生の総合的

	<p>な学習の時間で「いちご栽培」の体験活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域における食育指導推進事業」の研究指定（2カ年）を受けて研究を推進しました。 ・道徳の授業時間を確保し、職員による相互参観を行いました。 ・体力の向上を目指し、昼休みの5分間運動を実施しました。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「図書館利用案内～小・中学校の先生へ」を作成配布し、図書館で支援できるメニューを提示し、ニーズに合わせた支援を行いました。 ・併せて図書館見学や職場体験も受け入れ、図書館の利用方法や仕事を知る機会を提供しました。 ・読書を楽しむこと、また図書を使って調べる学習の支援を行いました。 ・学校での読み聞かせ・ブックトーク・図書館に関する授業等 実施回数 3回 ・教諭からの相談に応じ要望や授業に合わせた図書の貸し出し 貸出件数 27件 663冊 ・学校からの依頼により学校図書館の運営相談を行いました。 実施回数 1回 ・移動図書館の巡回を利用して、定期的に小学校へ団体貸出を行いました。 ・読書活動啓発のため「読書貯金通帳」を作成し、市内各小学校児童及び希望者に配布しました。 ・図書館の仕事を体験してもらうため、子ども講座と大人向け図書館講座をそれぞれ実施しました。 11月3日：子ども講座「体験！図書館のしごと」 参加 合計 17名 12月3日・5日：図書館講座「大人のための図書館職場体験」 参加 合計 10名
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【学校教育課・小中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力向上推進コーディネーターからの助言を指導に活かすことができました。また、小中が連携した取組を意識しながら、学習指導や生徒指導を行うことができました。 ○各校が、学力向上プロジェクト委員会の中で校内研修について意見交換することで、自校の研修がより充実しました。 ○少人数指導担当教員、特別支援教育学習支援員及び学習サポーターによる個に応じた指導を充実させたため、基礎的基本的な知識・技能の向上が見られました。 ○全国学力・学習状況調査における生活習慣に関する調査を2回実施し、生徒の実態把握と分析を行い、仮説検証を行うことができました。 ○公開研究会の授業づくり、授業公開時における全学級による授業展開、外部講師による学習会などを通じて、日常実践が充実し、子どもの学習力が高まりました。 ○「学習の手引き」を作成することで、学習習慣の必要性を改めて確認でき、保護者との連携を図ることができました。 ○読み聞かせを充実させることで、読書を好きになる子どもが増えました。 ○地域の人から学ぶ学習により、地域への関心や地域を愛する心が育ってきました。 ○市図書館(移動図書館)については、学校や児童が計画的に本を借りることにより、児童に読書習慣が身につけてきました。

	<p>◆学力向上プロジェクト委員会では、小中連携についての意見交換がやや不十分な部分もありました。</p> <p>◆個別指導が必要な児童生徒が多い中、少人数指導や習熟度別指導などを行うための正規職員数が十分ではない現状があります。</p> <p>◆家庭学習については、各家庭に学校の意図を周知させることはできましたが、自主学習への取組が、まだ高まりきらない状況が見られました。</p> <p>【図書館】</p> <p>○児童と図書との結びつきや学校との連携が図られました。また調べ学習の授業等で必要とする図書の相談や団体貸出を行い、学校の要望に応じることができました。</p> <p>◆学校への支援の継続と、図書館を効果的に利用してもらうために必要な図書と体制を準備する必要があります。</p>
--	---

<p>外国語教育・国際理解教育の推進 【学校教育課】</p>	<p>国際化社会に対応した教育の一環として、小学校の外国語活動及び中学校の外国語授業において、語学指導を行う外国語指導講師(A L T)を最大限活用し、外国語教育及び国際理解教育の充実を図り、国際感覚豊かな児童・生徒の育成に取り組みます。特に、外国語教育については、館山市小学校英語活動年間計画(年間 35 時間)に基づいた取り組みをすることで、外国語教育の充実を図ります。</p> <p>■民間委託による外国語(英語)指導講師配置事業</p> <p>■指導主事による指導及び助言</p>
<p>実 施 状 況</p>	<p>・小中学校にA L Tを配置し、小学校5・6年ではA L Tを最大限活用し、外国語活動・国際理解教育の充実を図りました。</p> <p>・小学校1～4年では、外部講師・特別非常勤講師による外国語活動を行いました。</p> <p>・姉妹都市ベリンハム市や友好都市ポートスティーブンス市の方々の訪館時に、外国語活動の成果を活かし、昔の遊びを紹介したり、一緒に活動したりして外国人との交流を図りました。</p> <p>・各中学校では、英語スピーチコンテストに向け、A L Tを活用しました。</p> <p>・校外学習(特に修学旅行)等で、これまでの成果を活かし、外国人との簡単な挨拶や会話をして交流しました。</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○A L Tが、授業だけでなく、清掃活動等を一緒に行ってくれ、全校児童が英語でコミュニケーションをとることができた。</p> <p>○小学校外国語活動の充実とともに、中学校においても英語科での英会話力の向上が図られました。</p> <p>○A L Tの指導法が充実しており、児童生徒の外国語(英語)や外国の文化に対する関心の向上とともに外国語学習に対する意欲が向上しました。</p> <p>○英語を使って、体を動かしたり歌ったりして楽しむ児童生徒の姿が見られました。</p> <p>○姉妹都市ベリンハム市や友好都市ポートスティーブンス市の方々の訪館時に一緒に活動して、コミュニケーションを図ろうとする態度が数多く見られました。</p> <p>○外部講師の活用による小学校1～4年の国際理解教育は、5・6年で行う外国語活動の下地になるだけでなく、英語の関心を高めることができました。</p> <p>○A L Tを活用し、低学年から英語に親しむことができました。</p> <p>◆学んだ英語を実践できる場が少ないように感じます。</p>

<p>情報教育の推進 【教育総務課・学校教育課】</p>	<p>市内の小・中学校におけるコンピュータ機器の整備、学校へのネットワーク構築が完了し、ICT教育環境の整備が図られる中、効率的で適切な情報教育の推進に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■パソコン機器等の更新 ■時代の変化に対応したソフトウェアの整備 ■情報教育推進のための教職員研修の実施
<p>実施状況</p>	<p>【教育総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に電子黒板19台を追加整備しました。 ・電子黒板の活用を図るため、ICT支援員を配置しました。 ・教科学習ソフトを小学校8校に導入し、小中学校全校の整備が完了しました。 <p>【学校教育課・小中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員の配置や電子黒板の配備により、ICT機器を活用した授業が展開されました。 ・職員個々への校務用PCの配置整備により、校務処理の効率化や情報の集約・集積だけでなく、授業準備等にも校内LANを活用し、効率的な業務遂行と適切な情報管理が行われました。 ・市主催ICT研修会に多くの職員が参加し、電子黒板の基本的な使い方や有効的な活用方法について演習を行い、技術向上に努めました。 ・通信業者の職員を講師として、携帯・スマホに関わる安全安心講座を開催しました。
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【教育総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電子黒板を活用する環境が整いました。 ◆使用頻度の高い学校からは電子黒板台数の増設希望があります。 <p>【学校教育課・小中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT支援員のサポートにより、職員が気軽に電子黒板を活用した授業を行うことができ、児童生徒の意欲関心が向上しました。また、様々な教科でICT教育環境（インターネット・デジカメ・プロジェクター・プレゼンテーション等）を活用し、学習の能率化や定着が図られました。 ○ICT支援員が定期的に派遣されたことで、授業だけでなく、校務分掌に関する相談もでき、業務の効率化が図れました。 ○タブレット端末については、保健室登校や個別指導の必要な児童を中心に活用し、意欲的に学習に取り組む様子が見られました。 ○PCファイルサーバーを利用することにより、情報の共有・集積が容易になり、また、外部への情報持出防止に役立ちました。 ○児童生徒がインターネットによる危険性を早くから自覚することができ、情報モラルの向上を図ることができました。 ◆今後のICT支援員の配置 ◆一部の教師に活用が偏っており、活用に仕方について研修等で技能を高める必要があります。 ◆ICT機器の不具合やメンテナンスへの迅速な対応ができる体制づくりが必要です。 ◆ICT機器の老朽化やネットワークシステムの能力不足、落雷等による災害等への対応を検討する必要があります。 ◆電子黒板を日常的に活用できるような環境整備を更に進める必要があります。無線LANやデジタル教科書、タブレット端末機の整備充実を検討する必要があります。 ◆児童生徒用PCが老朽化しています。

情操教育の推進 【学校教育課】	プロなどによる優れた芸術（音楽）を身近に鑑賞する機会を提供し、児童への情操の涵養を図り、芸術活動への参加の機運を醸成します。 ■館山市音楽鑑賞教室の実施（隔年事業・小学3・4年生対象）
実 施 状 況	【学校教育課・小中学校】 ・館山市内小学校3・4年生を対象とした音楽鑑賞教室を開催 ・館山市文化祭「子ども音楽会」の開催 ・フラメンコ教室への参加 ・ベリンナムダンスチームによる講演への参加
成 果 と 課 題 〔○成果◆課題〕	○音楽鑑賞教室を通して、本物の演奏に触れることで、音楽への興味・関心が高まりました。 ○プロのパフォーマンスに直接触れる貴重な体験ができました。 ○小学校1～3年生で参加した「子ども音楽会」は良い刺激となりました。 ○外国の文化への興味・関心が高まりました。

福祉教育・環境教育・キャリア教育・食育の推進 【学校教育課・学校給食センター】	「ふれあい体験活動推進事業」を実施し、福祉・環境・ボランティア・社会体験活動を通じて、変化の激しい社会を心豊かに、たくましく生き抜いていくための基盤となる力を身につけた児童生徒の育成に努めます。また、望ましい食習慣や栄養に関する正しい知識を身につけさせるため、学校給食センターの栄養士が各学校に出向き、食に関する指導事業を実施します。 ■中学生社会体験学習「チャレンジ感動 IN 館山」の実施 ■小学生社会体験学習「ゆめ・仕事ぴったり体験」の実施 ■食に関する指導事業
実 施 状 況	【学校教育課・小中学校】 ・福祉教育，環境教育，キャリア教育，食育の推進については，教育活動全体を通じて行っています。 ・福祉施設との交流学习を行いました。 ・昔の遊びや生活，地域の史跡，戦争体験など，地域の高齢者から学ぶ「ふれあい会」を実施しました。 ・キャリア教育については，総合的な学習の時間や学級活動の時間を使って，中学生は「チャレンジ感動 IN 館山」として3日間，小学生は「ゆめ・仕事ぴったり体験」として1日の社会体験学習を実施し，児童生徒の勤労観・職業観の向上に努めました。 ・食に関する指導事業については，給食試食会の実施や保健師・栄養士と連携した学習を行いました。また，「早寝 早起き 朝ごはん」について，生活習慣の調査を行いました。 【学校給食センター】 ・各学校において食に関する授業を実施し，食事の重要性や食事のマナーを守ることと，楽しく食事をしようとする意欲を持たせる。
成 果 と 課 題 〔○成果◆課題〕	【学校教育課・小中学校】 ○高齢者から自分達の住む地域のことを学び，ふるさとを大切に思う気持ちが育ちました。 ○福祉施設や福祉団体との連携した学習は，子ども達の思いやりを育むことにつながりました。 ○地元の様々な職業を取材・調査するとともに，興味関心を持った仕事を体験し，その魅力や大変さを体感することができました。 ○職場体験学習を行うことにより，働くことの大変さや保護者に対する

	<p>感謝の気持ち、職業について考える良い体験となりました。その結果、学校生活でも挨拶や礼儀に関してその成果が現れました。</p> <p>○職場体験学習を通して、自分の進路について真剣に考えるようになりました。</p> <p>○給食試食会では、初めて給食を食べた保護者が多く、学校給食について関心を高めることができました。</p> <p>○栄養士や調理師の方を派遣していただき、食べることの意義や栄養について学ぶことができました。食への意識を一層高めることができました。</p> <p>◆社会情勢や雇用形態の変化に伴い、職場体験の受け入れ事業所の減少が見られます。そのため、児童生徒が希望する職種での体験が難しい状況にあります。</p> <p>【学校給食センター】</p> <p>○心身の成長や健康を保つために必要な栄養や、正しい食事のとり方を指導することができました。</p> <p>○食事の重要性や、食事の喜びや楽しさを理解することができました。</p> <p>◆栄養教諭が各学校に赴いて行う食育授業がすべての学校において実施できませんでした。計画的な指導体制を整えることが必要です。</p>
--	--

<p>特別支援教育体制の推進 【学校教育課】</p>	<p>個別の指導計画や支援計画の作成、小・中学校に特別支援教育学習支援員を配置するなど、障害のある子どもが、持てる能力を最大限発揮できるよう、乳幼児期から中学校卒業まで一貫した支援を行い、社会的自立・職業的自立を図ります。また、教員の専門性・資質の向上や支援体制の充実を図り、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習支援を行うよう努めます。</p> <p>■学習支援員の適切な配置</p> <p>■保育園・幼稚園段階からの支援計画の作成</p> <p>■専門家チームによる巡回相談の充実</p>
<p>実 施 状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育学習支援員による児童生徒への個別対応の充実を図りました。 ・特別支援教育専門家チーム員を学校等に派遣し、個別の指導方法等の充実を図りました。 ・特別支援アドバイザーを招聘し、個別の指導方法等の充実を図りました。 ・保護者や児童生徒のニーズに応じた校内体制の充実と実践を推進しました。 ・校内教育支援委員会の定期的開催による計画的な支援の見直しを行いました。 ・安房特別支援学校との連携を図りました。
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○通常学級における個別指導を要する児童生徒への指導を充実させることができました。</p> <p>○特別支援教育専門家チーム員の派遣を積極的に推進し、各園・各校の要請に対応しました。教師の指導に関する助言が教育活動に有効でした。</p> <p>○特別支援教育学習支援員の指導力向上を図りました。また、学校では特別支援教育コーディネーターを中心に、週ごとに学習支援員の配置を検討したことで、児童生徒の実態に合わせた支援を行うことができました。</p> <p>○職員研修を実施することにより、児童生徒の障害への理解及び支援のあり方を深めることができました。</p>

	<p>○医療機関との連携により、支援を要する生徒と効果的に接することができました。</p> <p>◆特別な支援が必要な児童の多様化と増加により、技術的及び人的支援体制の充実を図る必要があります。</p> <p>◆インクルーシブ教育システムについて、教職員の理解を更に深めていく必要があります。</p> <p>◆幼稚園等と小学校、小学校と中学校との情報共有と連携について、更に深めていく必要があります。</p> <p>◆児童生徒の就学について、保護者との共通理解を図ることが困難な場合があります。</p>
--	---

<p>生活習慣病予防検診事業 【教育総務課】</p>	<p>近年増加傾向にある生活習慣病を小児期から予防し、地域の未来を担う子どもたちの健康管理を適正に行うことが求められています。小学校5年生、中学校2年生の全児童生徒を対象に採血、血圧測定を行い、保護者に対して検査結果により保健師、栄養士から生活習慣病の食育を含めた予防対策について指導をすることで、心身共に健康な児童生徒の育成に努めます。</p> <p>■生活習慣病予防検診 ■検診後の指導</p>
<p>実施状況</p>	<p>・小学校5年生、中学校2年生を対象に検診を実施し、有所見者に対して個別指導を行いました。</p> <p>・千葉県における小児期肥満の研究を行っている千葉県立保健医療大学からの依頼で、匿名化したアンケートデータ、検査データを提供しました。また、専門的な観点から指導を行っていただきました。</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○有所見者に対して個別指導を行うことにより、生活習慣改善に向けた具体的な取り組みを伝えることができました。</p> <p>○大学と連携し、専門的な観点から指導を行うことができました。</p>

第3節 教育相談の充実

<p>取り組み方向</p>	<p>・子育てへの悩みや児童生徒の悩みに対する教育相談体制の充実を図ります。</p> <p>・スクールカウンセラー派遣事業等の活用により、教職員の指導との連携を図ります。</p>
---------------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
<p>教育相談体制の充実 【学校教育課】</p>	<p>家庭・地域及び各関係機関との緊密な連携により、家庭の教育力を高める学習機会の充実を図ります。また、児童生徒の悩みなどに対する教育相談に関しての研修や研究を進めるとともに、スクールカウンセラーの配置など教育相談体制の充実を図ることで、保護者・児童生徒等の様々な悩みに対する相談体制を確立し、適切な支援と援助を行います。</p> <p>■スクールカウンセラー派遣事業 ■長欠対策主任研修の実施 ■中学校区生徒指導連絡会による小中学校間の生徒理解の滑らかな接続 ■各関係機関との連携</p>
<p>実施状況</p>	<p>・スクールカウンセラー配置校を中心に、小中学校の教育相談体制の充実を図りました。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーに適応指導委員会や生徒支援委員会に参加してもらい、児童生徒への対応について助言を頂きました。 ・スクールカウンセラーを家庭教育学級の講師として招聘し、ストレスへの向き合い方について研修しました。 ・教育相談日を年3回設け、子どもの悩みなどのサインを見逃さないよう努めました。 ・長欠対策主任研修会を実施し、長欠児童生徒の現状を把握し、その解消に努めました。 ・中学校区生徒指導連絡会議を実施し、小中連携した課題について共有することができました。 ・児童生徒を対象として、心理テスト(hyper-QU)を実施しました。 ・館山市いじめ防止対策推進条例を施行し、館山市いじめ防止基本方針を策定しました。また、条例に基づく「館山市いじめ問題対策連絡協議会」を開催しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○スクールカウンセラーは、配置校の児童生徒以外にも、要請により未配置校の児童及び保護者との相談を行うことができました。</p> <p>○長欠対策の校内会議にスクールカウンセラーが参加することにより、様々な視点からの支援が可能となっています。</p> <p>○長欠対策主任研修会は、訪問相談担当教員や南房総教育事務所の教育相談や長欠担当者による講話を依頼し、具体的な手立てについて研究・協議を行いました。</p> <p>○訪問相談担当教員が児童と定期的に面談を実施し、児童が抱えている悩み等を把握することができ、支援の手立てを講じることができました。</p> <p>○中学校区生徒指導連絡会議は、各校の生徒指導に関して共通理解し、中学校区の課題を明らかにし、具体的な対応について協議することができました。</p> <p>○心理テスト(hyper-QU)を実施し、学級の実態や児童生徒が集団とどう関わっているか把握することができました。研修を行い、細かく分析することで、より良い集団作りに役立てることができました。</p> <p>○いじめ問題に関して、条例の施行、基本方針の策定及び「館山市いじめ問題対策連絡協議会」の開催により、小中学校におけるいじめの防止等のための対策が構築されました。</p> <p>◆スクールカウンセラーの配置が週1回のため、児童生徒や保護者の要望に対応できない場合もありました。</p> <p>◆児童に対する支援よりも、保護者に対する支援に苦慮することがあります。各機関との連携・協力により、保護者への支援を更に充実させていく必要があります。</p>

第4節 教職員の資質向上

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性と確かな専門性に基づく実践的指導力を持つ教員の育成に努めます。 ・研究指定校や教育問題研究会事業等を中心として、質の高い授業づくりに努めます。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
----------------	---------------

<p>教職員研修の充実 【学校教育課】</p>	<p>効果的な教育実践が営まれるよう、また、特色ある学校づくりが推進されるよう社会や時代のニーズを踏まえた計画的な教職員の研修・研究体制の確立を図り、教職員の資質、力量の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■研究指定校（園）への支援 ■館山市教育問題研究会 ■人材育成の階層別研修（管理職研修・中堅研修・若手研修） ■人材育成や教育のニーズに合わせた教職員研修の充実 （教務主任研修・生徒指導主任研修・英語主任研修・パソコン研修） ■危機管理意識高揚のための校内研修
<p>実 施 状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校への支援，指導主事の派遣及び研究会への参加を要請しました。 県指定 館野小学校（食育指導推進事業） 安房地区教育委員会連絡協議会指定 神戸小学校（算数教育） 市指定 西岬小学校・第二中学校（海洋教育推進） 自主公開 北条小学校（研究テーマ「創時力」） 館山小学校 ・館山市教育問題研究委員会では、今年度より2年間をかけて「ICT機器を有効活用した学習における館山市モデルの作成」を研究し、本年は1年目として中間答申がありました。 ・階層別研修会は、 管理職研修会 「学校訪問から思うこと」 若手中堅研修会 「学級経営」「ICTの活用」「小中連携」「教員の資質向上」 等をテーマに研修を行い、教員としての力量の向上に努めました。 ・教育のニーズに合わせた教職員の研修では、各校の担当者が成功例や課題を紹介し、それぞれが自校に持ち帰り、よりよい学校づくりに役立てることができました。 ・危機管理意識高揚のための校内研修においては、市教委から自己啓発レポートの作成を依頼するとともに、危機管理マニュアルの見直しや各校の実態にあった研修会を開催することとしました。
<p>成 果 と 課 題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○研究指定校や公開研究会について、当該校の教員の力量を向上させることはもとより、市内各小中学校からも多くの教員が参加し、各校の学校づくり及び指導力の向上に役立てることができました。</p> <p>○館山市教育問題研究委員会の取組は、学習に取り組む児童生徒にとって「興味」「関心」「わかりやすさ」を向上させるためのひとつのきっかけになるものと考えます。各委員の資質向上にもつながり、次年度の最終答申を期待したいと考えています。</p> <p>○階層別研修においては、学校現場で日々悩んだり考えたりしていることに対して、どのような取組があるか、考え方ができるか、という身近な講話や講義があり、今後の実践に役立てることができました。</p> <p>○教育のニーズに合わせた教職員の研修では、各校の柱となる校務分掌の担当者の率直な意見が出され、充実した研修になりました。</p> <p>○危機管理意識高揚のための校内研修では、各校の実態に合った研修会（ボトムアップやロールプレイ等）も行われ、意識の高揚に役立っているものと考えます。</p> <p>◆館山市教育問題研究委員会では、デジタル資料の活用をいかに各校に広げていくかを課題として取り組んでいきたいと考えています。</p>

	<p>◆階層別研修や教育ニーズに合わせた教職員の研修は、参加者の実態や直近の教育課題に対して、いかに取り組むかを考えた研修を今後も検討していきます。</p> <p>◆危機管理意識高揚のための校内研修は、マンネリ化することなく、よりよい研修が行えるよう「情報提供」や「研修方法」について考えていきます。</p> <p>◆各種研修で学んだことをいかに各校で活かせるか、児童生徒の教育に活かせるかを常に念頭に置き、教職員の資質向上に努めます。</p>
--	--

第5節 幼児・児童・生徒の安全確保

取り組み方向	<p>・危機管理対応マニュアルの日常的な見直しと避難訓練の実施及び不審者に対する安全の確保を図ります。</p> <p>・地域ぐるみで幼児・児童生徒の安全確保を図ります。</p>
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
安全対策の充実 【学校教育課・教育総務課・こども課】	<p>危機管理対応マニュアルを適宜見直し、施設の安全・避難経路等の日常的な点検及び職員への意識啓発を行います。子どもが身の回りの危険箇所を把握し、自らの判断で行動できる指導をします。安全対策備品等の買い替えや不審者情報の提供、学校区毎の「見守り活動」を促進し、教育現場における安全性の確保に努めます。</p> <p>■家庭・地域と連携をした避難訓練の推進（地震・津波・火災）</p> <p>■各学校における防災教育の充実</p> <p>■安全マップを活用した指導の充実</p> <p>■安全対策備品の管理・買い替え</p>
実施状況	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校危機管理マニュアルの見直しを適宜行い、各校が危機管理への意識を高めています。 ・安全対策主任研修会を実施し、生活安全・交通安全・災害安全について自校の取組状況の評価を行いました。 ・安全マップを作成し、全校集会の場で発表しました。 ・通学路危険箇所について、関係機関と連携し、通学路危険箇所の改善について取り組んでいます。 <p>【こども課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し訓練を実施しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通学路危険箇所については、関係機関との連携強化により、実情に応じた改善が図られています。（館山小学区：ゾーン30の新設等） ○安全マップについて、全校集会で発表することにより、児童の安全に対する意識が高まりました。 ○登下校時に、地域の方の協力で見守り活動をしていただき、子ども達が安心して事故なく生活を送ることができました。 ○消防団・保護者との共同訓練（津波による高台非難）を実施することで、消防団・保護者共に、児童の避難経路・避難場所の確認をすることができました。 <p>◆通学路の安全確保については、児童生徒への交通ルールの指導だけでなく、関係機関の協力を得ながら、地域住民全体が交通安全に関して意</p>

	<p>識の向上を図る必要があります。</p> <p>【こども課】</p> <p>○緊急時における園児の安全確保と保護者、地域との連携がスムーズに行えるようになりました。</p>
--	---

第6節 学社融合の推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を図り、地域の教育力を活かした学校体制づくりと開かれた学校づくりを推進します。 ・地域の教育的資源の活用を図ります。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
学校区におけるコミュニティの形成 【学校教育課】	<p>市民等で組織された学校評議員制度を活用し、地域の教育力を活かします。また、中学校子育てフォーラム、中学校家庭教育講演会を開催するとともに、地域の人材を活用し、地域に根ざした、開かれた学校づくりの確立を図ります。</p> <p>■学校評議員の評価機能をいかした学校運営の充実 ■子育てにかかわるテーマや啓発を目的としたミニ集会の実施</p>
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を実施し、その結果について、分析とともに保護者や地域に公開しています。 ・定期的に学校評議員会議を開催し、学校運営状況を説明するとともに学校改善について検討を重ねています。 ・学校行事等を保護者や地域に知らせるとともに、その参加を依頼し、学校の取組や様子を知らせています。 ・ホームページやブログを活用し、各校の情報を発信しています。 ・安心・安全サポーター（地域見守り隊）の方々との会議を開催し、子どもの安全を考えるとともに、地域で児童生徒の様子を観察するとともに、子どもたちのよりよい成長について共に考えて頂いています。 ・各校で教育ミニ集会を開催し、次代を担う子どもたちのよりよい成長について地域の方々と考えています。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○学校評価の実施・公表は、課題が明らかになり、分析や今後の取組を保護者や地域に知らせることにより、信頼と協力を得る機会になっていると考えます。</p> <p>○学校評議員会議の開催により、教職員とは違う立場からの意見を頂くことにより、学校運営に役立てることができました。</p> <p>○学校行事等を保護者や地域に知らせることにより、学校をより身近なものに感じて頂くことができ、地域の学校という一体感が持てるようになってきていると考えています。</p> <p>○ホームページやブログの活用については、その閲覧数から学校への関心や期待を感じています。今後も活用し、よりよい学校づくりに努めていきます。</p> <p>○地域見守り隊の方々との会議は、身近に日々の児童生徒の様子を見ているの方々であるので、聞いた話を児童生徒への指導に役立てることができました。</p> <p>○ミニ集会の開催は、それぞれの立場から意見を頂ける機会であり、よりよい学校運営に役立てる良い機会になっています。</p> <p>◆学校評価は、評価の観点について、児童生徒等の実態を踏まえ、より</p>

	<p>有効なものとなるよう検討を重ねていきます。</p> <p>◆学校行事やミニ集会への参加については、多くの方々に参加して頂けるよう周知していきます。</p> <p>◆ホームページやブログの活用については、個人情報の保護に気を配り活用していきたいと考えています。</p>
--	--

<p>特色ある学校づくり</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>地域の自然・歴史・文化を活用し、郷土意識・愛着心を持った児童生徒の育成を図るとともに、地域の人材活用や学校間交流支援事業の実施、総合的な学習等の推進により、地域に根ざした開かれた学校づくりに努めます。</p> <p>■地域素材の教材化</p> <p>■地域人材の活用</p>
<p>実 施 状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史副読本「さとみ物語」を活用し、小学校6年・中学校2年で、4時間の授業を行うこととしました。 ・社会科・生活科・総合的な学習の時間において、地域についての学習を推進しました。 ・市役所・市立博物館の見学や出前講座を利用し、地域についての学習を推進することができました。 ・地域の地場産業を体験することにより、自分たちの住んでいる地域の特徴や良さを知ることができました。 ・地域の方々が先生となり、地域ならではの学習を推進しました。
<p>成 果 と 課 題</p> <p>〔○成果◆課題〕</p>	<p>○歴史副読本「さとみ物語」の学習により、館山という地域を再発見することができました。</p> <p>○社会科・生活科・総合的な学習の時間では、地域への理解や良さを学ぶ機会になりました。</p> <p>○市役所や市立博物館の見学、出前講座の活用は、館山市という「まち」の成り立ちや特長を知るきっかけとなりました。</p> <p>○地域の地場産業の学習や地域の特長を知るための、地域の方々を先生とする学習の取組は、児童生徒にとって興味関心を高める良い機会になっています。</p> <p>◆地域人材の活用は、講師をしてくださる方の高齢化があり、新たな人材を探す必要があります。</p> <p>◆施設の見学や講師をしてくださる方との日程調整等については、今後も計画性をもって取り組みたいと考えます。</p> <p>◆校外での学習は、安全確保が課題だと考えています。</p>

第7節 教育環境・就学環境の整備

<p>取り組み方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給世帯等に対し、就学費を援助します。 ・遠距離通学者の負担軽減を図ります。 ・優秀な人材育成のため、就学資金を援助します。 ・教育環境の是正を図るため、「館山市学校再編基本指針」に基づき協議を進めていきます。
---------------	---

<p>計画事業名</p> <p>【担当課】</p>	<p>事 業 概 要</p> <p>■実施計画</p>
<p>就学費援助事業</p> <p>【教育総務課】</p>	<p>生活保護受給世帯等で、経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費等学校生活に必要な経費を援助することに</p>

	より、教育の機会均等化を図り、義務教育を受ける権利を保障します。 ■就学費援助(学用品費・新入学学用品費・通学用品費・修学旅行費・校外活動費・給食費・体育実技用具費)												
実施状況	要保護及び準要保護児童生徒に対し就学援助費(学用品費、校外活動費、医療費、学校給食費等)を支給しました。 【平成27年12月末現在】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要保護</th> <th>準要保護</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>21人</td> <td>145人</td> <td>6,916,602円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>7人</td> <td>119人</td> <td>9,619,990円</td> </tr> </tbody> </table>		要保護	準要保護	支給額	小学校	21人	145人	6,916,602円	中学校	7人	119人	9,619,990円
	要保護	準要保護	支給額										
小学校	21人	145人	6,916,602円										
中学校	7人	119人	9,619,990円										
成果と課題 【○成果◆課題】	○経済的な理由で就学が困難な小中学校の児童生徒の保護者の負担が減り、教育の機会均等が保てました。 ◆今後も就学援助制度の周知に努めます。												

スクールバス運行事業 【教育総務課】	学校統合により遠距離通学となる児童生徒の安全な通学手段の確保と保護者負担の軽減を図るため、スクールバスを運行します。 ■スクールバス運行委託事業												
実施状況	学校統合により、遠距離通学となった地区のうち、路線バスの無い地区や路線バスの不便な地区にスクールバスを運行しました。 【平成27年12月末現在】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>対象人数</th> <th>運行日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>畑地区(二中・豊房小)</td> <td>2人(小1・中1)</td> <td>154日</td> </tr> <tr> <td>神余地区(二中)</td> <td>9人</td> <td>148日</td> </tr> <tr> <td>九重地区(三中)</td> <td>37人</td> <td>147日</td> </tr> </tbody> </table>	対象校	対象人数	運行日数	畑地区(二中・豊房小)	2人(小1・中1)	154日	神余地区(二中)	9人	148日	九重地区(三中)	37人	147日
対象校	対象人数	運行日数											
畑地区(二中・豊房小)	2人(小1・中1)	154日											
神余地区(二中)	9人	148日											
九重地区(三中)	37人	147日											
成果と課題 【○成果◆課題】	○路線バスの不便な地区について、通学手段を確保できました。 ◆児童生徒数の減少による地区スクールバスの運行方法について検討する必要があります。												

遠距離通学費補助事業 【教育総務課】	学校統合により遠距離通学となる児童生徒を対象に、通学費の経済的負担を軽減するため、補助を行います。 ■遠距離通学費補助金支給															
実施状況	学校統合により遠距離通学となった児童・生徒の通学費を補助しました。 【平成27年12月末現在】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>対象人数</th> <th>補助金交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神戸小</td> <td>12人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>西岬小</td> <td>27人</td> <td>286,200円</td> </tr> <tr> <td>第二中</td> <td>59人</td> <td>3,203,620円</td> </tr> <tr> <td>第三中</td> <td>25人</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table>	対象校	対象人数	補助金交付額	神戸小	12人	0円	西岬小	27人	286,200円	第二中	59人	3,203,620円	第三中	25人	0円
対象校	対象人数	補助金交付額														
神戸小	12人	0円														
西岬小	27人	286,200円														
第二中	59人	3,203,620円														
第三中	25人	0円														
成果と課題 【○成果◆課題】	○学校統合により、遠距離通学となった児童生徒の保護者負担が軽減されました。 ◆房南地区小中一貫校開校に伴い、スクールバス運行も含めて全体的に検討していく必要があります。															

ふるさと創生奨学資金貸付事業 【教育総務課】	経済的理由により、高等学校・大学などに就学することが困難な者に対し、就学の機会を失することなく、地域の将来を担う有為な人材を育成するため、奨学資金を貸し付けます。 ■ふるさと創生奨学資金貸付事業
実施状況	ふるさと創生奨学資金の貸付申請があった者に、入学支度金及び修学金の貸付を行いました。

	【平成 27 年 12 月末現在】		
	対象	対象人数	金額
	貸付対象者	18 人	3,240,000 円
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○経済的に就学が困難な者に対し貸付を行うことによって、就学の機会が確保されました。 ◆今後もふるさと創生奨学資金貸付事業の周知に努めます。		

学校規模における教育環境の是正 【学校教育課】	今後も減少傾向が続くと予想される小学校の児童数を踏まえ、「館山市学校再編基本指針」に基づき、学校の主役である子どもたちの適切な学校環境の構築を推進していきます。 ■複式学級編成校の解消並びに小中一貫校実現についての検討		
実施状況	・房南地区小中一貫校開校に向けての協議継続 （房南地区小中一貫校検討委員会の開催） ・新校舎基本設計（素案）説明会の実施		
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○房南地区小中一貫校検討委員会内に個別事項を検討する検討部会が設置され、継続して協議を重ねています。 ○検討委員会向けに新校舎基本設計（素案）についての説明会を開催しました。 ◆平成 29 年 4 月の開校に向け、最終段階の協議を継続します。		

第 8 節 学校（園）・給食センターの施設整備

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の耐震性の確保に努めるとともに、安全で快適な学習環境の整備に努めます。 ・老朽化、あるいは不足している学校用備品等の計画的な整備に努めます。 ・教育施設を社会体育活動や地域活動の場として利活用します。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
学校（園）施設の整備 【教育総務課・こども課】	<p>小・中学校・幼稚園の施設の安全性を確保するため、耐震改修・老朽化施設改修などを行い、安全で安心な学校施設の整備と学習環境の向上に努めます。</p> <p>■耐震診断事業 北条幼稚園，豊房幼稚園</p> <p>■耐震改修事業 校舎：北条小学校，館山小学校，館野小学校・幼稚園，西岬小学校 体育館：館山小学校，九重小学校，豊房小学校</p> <p>■小中一貫事業 房南学区</p>
実施状況	<p>【教育総務課】</p> <p>■耐震診断事業 全学校（園）で実施済み</p> <p>■耐震改修事業（工事及び工事監理） 校舎：館山小学校西棟，九重小学校，九重こども園 体育館：神戸小学校，九重小学校</p> <p>■小中一貫事業 房南地区（工事及び工事監理）</p> <p>■幼稚園建設事業 北条幼稚園（工事及び工事監理）</p> <p>【こども課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九重こども園の耐震改修工事を実施しました。 ・老朽化した施設等の修繕を行い、施設の安全性の確保に努めました。
成果と課題	【教育総務課】

<p>〔○成果◆課題〕</p>	<p>○学校施設の安全性を確保し、学習環境が向上しました。 ◆国が目標としている平成 27 年度末耐震化率 100%は、達成されていません。(神戸小学校校舎, 第三中学校校舎, 房南中学校体育館, 北条幼稚園園舎) 神戸小学校校舎は、平成 29 年 4 月より小中一貫校新築校舎へ移転予定。 北条幼稚園は、平成 28 年 9 月より新築園舎を使用予定。 第三中学校は、耐震化の方法について関係各所と協議中。 房南中学校体育館は、平成 29 年 4 月より小中一貫校(新体育館)を使用予定 【こども課】 ○耐震改修工事や修繕等を実施した結果、施設の安全性が確保できました。</p>
-----------------	--

<p>学校用備品の整備 【教育総務課】</p>	<p>老朽化した学校用備品の更新, 必要な教材の購入を行い, 快適な学習環境と教育効果の向上を図ります。 ■基準耐久年数を越えた備品の廃棄・買い替え ■学校間での備品の共有化・貸し出し ■防災カーテンの整備 ■消火器の詰め替え, 買い替え ■学校図書の本整備</p>
<p>実 施 状 況</p>	<p>・防災カーテンの整備を行いました。 ・消火器の買い替えを行いました。 ・老朽化した備品の買い替えを行いました。</p>
<p>成 果 と 課 題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○学習環境の改善が図られました。</p>

<p>学校給食センターの整備・運営 【学校給食センター】</p>	<p>安全かつ適正な給食を提供するとともに, 学校給食における地産地消を推進するため, 新たな給食センターの建設に向けた取組を推進します。 また, 老朽化している現有施設について, 適切な施設保全に努めます。 さらに, 委託業者と連携し, 提供する給食の質の向上に努めつつ運営の合理化を推進します。 ■施設整備計画の策定 ■新給食センターの建設(H30 稼働) ■現有施設・備品の適正な保全 ■地域食材の活用</p>
<p>実 施 状 況</p>	<p>・施設及び設備の状況を把握し, 新センター稼働までは必要最小限の修繕を行い, 現状の施設及び設備の適切な管理に努めました。 ・新センター建設に向け, 建設用地を確定させ早期稼働を目指すため, 関係機関と協議を行いました。 ・地産地消については, 館山市で収穫された農産物を学校給食において提供しました。</p>
<p>成 果 と 課 題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○老朽した施設及び設備を稼働休止することなく安全な学校給食を提供することができました。 ○新センター建設に向け早期稼働を目指すため, 実施設計業務を平成 27 年度から 28 年度にかけて委託します。 ○本年度は館山市内で収穫された古代米及び神戸地区のレタスを使用したメニューを取り入れたことで, 地元食材をアピールいたしました。 ◆現施設での学校給食の提供では施設の老朽化が著しく, 安全かつ安定した提供が難しいことから, 早急に新センター稼働に向けた準備を進め</p>

	<p>なければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none">◆建設用地の確定に向け、建築基準法の課題を解決しなければならず、引き続き関係機関と協議を進めなければなりません。◆大量の食材を使用する学校給食において、地場産物の使用を促進するためには、計画的な生産体制及び効率的な流通体制を構築する必要があります。
--	---

Ⅱ スポーツ・レクリエーション活動の推進

第1節 生涯スポーツの推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の開催，伝統あるスポーツイベントの継続やマリンスポーツなどの館山の自然を活用したスポーツの普及に努めます。 ・市民スポーツ・レクリエーション月間の事業を充実し，生涯スポーツを推進します。 ・総合型地域スポーツクラブの運営を支援します。 ・小・中学校の体育施設を開放し，地域のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として有効活用します。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
スポーツ教室実施事業 【スポーツ課】	バレーボールや水泳などで，世界レベルの活躍をした一流選手を講師に招く，「一流選手に学ぼうスポーツ教室」を開催し，競技レベルの向上や競技人口の拡大を図ります。
実施状況	館山ふるさと大使（オリンピックメダリスト）を講師に招き，主に小学生を対象に，以下のスポーツ教室を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・一流選手に学ぼう水泳教室（7/25）対象者：小学生，大人 ・一流選手に学ぼうバレーボール教室（11/15）対象者：小学生
成果と課題 【○成果◆課題】	○市民の健康増進，体力及び競技力の向上が図られました。 ◆限られた時間の中で，いかに対象者の層を拡大していくかが課題です。

第2節 スポーツ交流の推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・既存スポーツイベントの充実を図るとともに，国際的・全国的なスポーツイベントの誘致・開催やマリンスポーツ及びビーチを利用したスポーツの普及・情報発信に努めます。 ・プロスポーツチームのキャンプを積極的に誘致し，観戦の楽しみを通じたスポーツ人口の拡大を図るとともに，観光関連産業との連携による交流人口の拡大を図ります。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
館山若潮マラソン大会運営委託事業 【スポーツ課】	南房総の一大イベントとして定着した本大会を手作り市民マラソン大会の基本的なスタイルを維持しながら，さらに大会の知名度アップや内容の充実に努めます。
実施状況	大会環境の改善及びマラソンコースも含めた市内道路の交通渋滞の緩和に努めました。 <p>《環境改善》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付等会場レイアウトを見直し，ストレスのない選手導線を確認 ・エイドステーションの提供物品の充実 ・「赤ちゃんの駅／リタイア」テントの設置 <p>《渋滞緩和》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通規制時間の見直し ・関門増設 ・迂回路設定 ・拡大版交通規制図作成及び該当地区住民及び観光客への配布及び周知

成果と課題 〔○成果◆課題〕	○前年度の課題解消・軽減及び、大会の魅力アップが図られました。 ◆常に参加者、大会関係者、地域住民等の声を聞き、大会運営に反映していく必要があります。
-------------------	--

第3節 スポーツ団体・指導者の育成

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体への支援を継続します。 ・スポーツ指導者の資質向上を図るため、研修会への参加を支援します。 ・小・中学校の体育振興を図ります。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
小・中学校体育振興委託事業 【学校教育課】	各種目の大会・講習会の開催や、県中学校総合体育大会や新人大会への選手の派遣など、館山市小中学校体育振興会に体育振興強化関連の事業を委託し、児童生徒の体力・技術力の向上と青少年の健全育成に努めます。 ■小・中学校体育振興委託
実施状況	館山市小中学校体育振興会に委託することにより、児童生徒の体育振興を目的として、主に以下の事業を行いました。 ① 小学校体操教室 ② 小学校陸上競技大会 ③ 千葉県中学校総合体育大会参加 ④ 千葉県中学校新人体育大会参加
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○小中学生の体力、競技力の向上 ◆少子化に伴い、学校活動において団体競技を実施することが難しくなっている現状があります。 (部活動の維持、体育教科での団体競技の実施等)

第4節 スポーツ施設の整備

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・市民運動場の野球場やテニスコートなどの修繕を計画的に実施し、利用者の利便性の向上に努めます。 ・温水プールや 50mプールの修繕や維持管理を適正に行い、施設の延命化に努めます。 ・市民体育館の耐震補強工事を実施し、利用者の安全性の確保を図ります。 ・出野尾多目的広場は、冬芝の育成を継続するとともに、利用者の利便性の向上に努めます。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
スポーツ施設の整備 【スポーツ課】	市民運動場やプール、体育館など、既存のスポーツ施設の適正な維持管理に努め、利用者の利便性、安全性の確保を図ります。 ■市民運動場テニスコート防球ネット改修事業 ■市民体育館耐震補強事業 など
実施状況	・社会体育施設の維持管理のため、市民運動場については、台風で切断された野球場電線設備の修繕工事を行いました。温水プールについては、老朽化により故障した、濾過循環用ポンプの取替工事や、ボイラーバーナ装置及び押込みファン装置の改造工事を行いました。

	<p>また、温水プールや 50mプールの清掃の効率化を図るため、ポリッシャーを購入するなど、施設の適正な維持管理に努めました。</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○各社会体育施設の整備や修繕，適切な維持管理を行うことで，既存施設の利用者の利便性の向上や安全性の確保と延命が図られました。</p> <p>◆今後も各施設の安全性と利便性の向上を図っていくため，財政状況に配慮しつつ計画的な改修・修繕・整備を行う必要があります。</p> <p>特に，市民体育館については，平成 23 年度に耐震診断を実施した結果，耐震改修を行う必要性があるため，今後，耐震改修事業として，耐震診断判定業務，実施設計業務，耐震改修判定業務，耐震改修工事等を「館山市耐震改修促進計画」に基づき，財政状況や緊急性などの優先順位を踏まえて計画的に行う必要があります。</p> <p>また，温水プールについても，熱交換器，貯湯槽及び蒸気配管などボイラーの附帯設備について，老朽化が進んでいることから，計画的に改修を行う必要があります。</p>

Ⅲ 生涯学習の推進

第1節 生涯学習推進体制の整備充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や市民と連携し、さまざまな媒体を活用した生涯学習情報の提供や講座の開催に努めます。 ・地域人材の活用による各種ボランティア制度の拡充に努めます。 ・地域で子どもを育てる力を向上させるため、社会教育団体の育成や自主的な活動を支援し、社会教育団体を核とした地域教育力の向上を目指します。 ・市民の自主的なサークル活動を積極的に支援します。 ・時代や利用者の多様なニーズに対応した蔵書構成やサービスを提供するため、図書館の一層の整備充実を図ります。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
生涯学習ボランティア制度の充実 【生涯学習課・博物館】	<p>地域人材の活用による学校支援（マイスクール）ボランティアや生涯学習ボランティア、ミュージアムサポーター制度、出前講座を拡充し、学社融合や博物館事業の充実を図るとともに、自主的な活動による市民の自己表現の場と生涯学習活動の場の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■マイスクールボランティア事業の推進 ■出前講座の拡充 ■展示案内・資料調査・資料整理などミュージアムサポーターの活動内容の拡充 ■市民ギャラリーの開設
実施状況	<p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムサポーター「絵図士」が、館山市内及び安房地域に点在する文化財や歴史情報等を調査し、これらを手書きの地図とともに紹介する「文化財マップ」を作成しました。 絵図士 18名 歴史散策マップ「日枝神社文化財解説」 「石彫師 武田石翁を訪ねて3（鋸南町・鴨川市編）」 ・ミュージアムサポーター「甲冑士」が、歴史教室「甲冑を着よう」において、戦国期の甲冑（複製）2領を用い希望者への体験着用を行いました。 甲冑士 22名 開催回数 毎日曜・祝日 66回 参加者数 延 766人 ・ミュージアムサポーター養成講座を開催し、人材の育成、確保に努めました。 甲冑士養成講座 参加者 2人 ・市民ボランティアを中心とする安房学講座実行委員会による運営で安房学講座を開催し、安房地方の歴史と民俗に関わる内容について講義を行いました。 実行委員 9名 開催回数 平成27年6月～平成28年3月 各月1回 全8回 参加者数 延 505人
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>【博物館】</p> <p>○教室・講座は、地域の歴史や文化を広く紹介し情報を発信する機会として、また、生涯学習の学びの場として、博物館の普及事業に欠かせない要素となっています。</p>

	<p>○絵図土の実施のフィールドワークによって作成された「歴史散策マップ」は、情報精度が高く、市ホームページ内の「たてやまフィールドミュージアム」で紹介し、地域の歴史情報として貴重な資料となっています。</p> <p>○ミュージアムサポーター養成講座により、甲冑士 2 名が新たに加わりました。</p> <p>◆ボランティア参加者の固定化に対応するために、新しい人材の育成、確保が必要です。</p>
--	---

<p>サークル活動の支援 【図書館・中央公民館】</p>	<p>サークル活動への新たな参加者を増やすための事業の展開や、有益な情報の提供、活動や発表の場の提供に努め、自主的な活動を支援します。</p> <p>■図書館ボランティアの育成及び支援</p> <p>■サークルフェスティバルの開催</p> <p>■公民館サークル連携「わくわくサークル教室」の開催</p>
<p>実施状況</p>	<p>【中央公民館】</p> <p>・「わくわくサークル教室」（2回実施：10月・2月）</p> <p>10月：3サークル受け入れ（応募者13人、サークル加入者4名）</p> <p>2月：4サークル受け入れ（応募者16人、サークル加入者6名）</p>
<p>成果と課題 【○成果◆課題】</p>	<p>【中央公民館】</p> <p>○「わくわくサークル教室」については、サークルと中央公民館が連携して講座を開設し、参加者がその後にサークル員となるためのきっかけづくりと共に、サークル活動の活性化を目的としています。平成27年度は2回実施予定で、1回目の10月では13名の参加があり、この内4名が新たにサークル員として加入しました。</p> <p>◆「わくわくサークル教室」については、広報誌で記事を掲載し募集したところ、多数のサークルから申込みがあったことから、多くのサークルで会員の募集に苦慮している状況があるため、今後のサークル支援の方法等を再検討していく必要があると思われます。</p>

<p>図書館体制の整備充実 【図書館】</p>	<p>多様化・高度化する利用者のニーズに応じた資料を収集し、蔵書構成の充実を図るとともに、課題を解決するための調査研究支援（レファレンス）、積極的な情報提供に努めます。さらに、開館時間の検討や住民ニーズの調査分析を行い、図書館サービスの向上を図ります。</p> <p>■図書館資料の収集及び提供</p> <p>■情報サービスの充実</p> <p>■移動図書館車の運行</p>
<p>実施状況</p>	<p>・ニーズに応じた資料を購入や寄贈で受け入れ、貸し出しを行いました。調べ物や調査研究に関しての相談や質問に応じ（レファレンス）、図書や資料による情報を提供することで支援を行いました。</p> <p>・蔵書点数 152,176点（図書・雑誌・視聴覚資料） うち郷土資料蔵書点数 6,748点</p> <p>・貸出点数 155,913点（個人貸出・団体貸出）</p> <p>・移動図書館巡回日数 89日</p> <p>・移動図書館巡回ステーション 30箇所</p> <p>・毎週木曜日は午後8時まで開館しました。</p>

<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○利用者のニーズに対応し、図書館サービスの向上が図られました。 ◆資料の収集を継続、適正な蔵書管理を行い、利用者のニーズに応じることが必要となります。</p>
---------------------------	--

第2節 生涯学習機会の充実

<p>取り組み方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな地域資源を活用し、有益な資料・情報や多彩な学習機会を提供することで、市民の自主的な学習活動を支援します。 ・学習成果が社会参加活動のきっかけとなるよう、現代的課題を取り入れた講座を企画します。 ・「環境」・「観光」・「まちづくり」など市が取り組む行政課題、各種施策について、市民に広く理解を図る役割となる講座を開催します。 ・市民の自己実現の確立、地域活動への参画、また、地域コミュニティの醸成を図るため、幅広い年齢層に対応した、誰もが参加しやすい生涯学習講座の開催を推進します。 ・館山の歴史・文化の情報発信拠点として、博物館の学習、施設機能の充実を図ります。 ・旧県立安房博物館（現博物館分館）の移譲を受け、観光的な視点からの事業展開や来訪者などの交流人口の拡大に努めます。 ・博物館の豊富な資料の有効活用を図り、内外に向けた情報発信機能を強化します。 ・「ふるさと」を基本テーマに、歴史・文化、生活など柔軟な視点から地域をとらえた、魅力ある各種講座を開催し、地域への愛着心の醸成やまちづくり活動に参画する人材の発掘も目指します。 ・博物館、図書館及び公民館の連携を図り、総合的なふるさと学習を推進します。 ・市民の優品鑑賞の機会を提供するため、文化庁・千葉県などと連携し、展覧会・講演会・講座等の充実に取り組みます。
---------------	--

<p>計画事業名 【担当課】</p>	<p>事業概要 ■実施計画</p>
<p>展覧会・講演会・講座等の開催 【博物館】</p>	<p>優れた歴史・文化遺産の展示・公開や、講演会・講座等教育普及事業の拡充を図ることにより、郷土を知る手掛かりを提供し、市民の歴史への興味関心に応えるとともに、観光拠点としての城山公園・渚の駅にある博物館の特色を活かした事業展開や観光客誘致にも取り組みます。（入館目標者数：70,000人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■博物館3館のテーマを活かした常設展示・講座の開催 ■館山・安房をテーマにした特別展・講座の開催 ■市内の旧町村を紹介する地区展の開催 ■文化施設をつなぐ動線の開発
<p>実施状況</p>	<p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展示 <ul style="list-style-type: none"> 本館：館山の歴史と民俗 分館（渚の博物館）：房総半島の海と生活 八犬伝博物館（館山城）：八犬伝の世界 ・後藤義光生誕200年記念企画展「房州彫物職人の技」 <ul style="list-style-type: none"> 期間 平成27年4月18日～平成27年5月24日 入館者数 9,237人 房州で生まれた名工、初代後藤義光の生誕200年を記念し、寺社

	<p>などに伝わる彫刻作品を紹介しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終戦 70 年企画収蔵資料展「戦時のたてやま」 期間 平成 27 年 7 月 11 日から平成 27 年 9 月 6 日 入館者数 9,582 人 終戦 70 年をむかえ、戦時下の市域の様子を取り上げ、軍都館山とそこに生きた人々の暮らしを紹介しました。 ・新・地区展「西岬—海の信仰が息づく地—」 期間 平成 27 年 10 月 10 日～11 月 29 日 入館者数 7,308 人 市内の 10 地区の歴史と文化財について、調査によってあらたに確認された資料や歴史事実をシリーズで紹介する「地区展」で、今年度は西岬地区を取り上げました。 ・特別展「館山藩—稲葉家と藩士たち—」 期間 平成 28 年 2 月 6 日～3 月 21 日 入館者数 7,793 人 江戸時代後期に館山に陣屋を構え、周辺地域を支配した館山藩稲葉家を取り上げ、地域の人々と藩主、藩士との関わりを紹介しました。 ・主な講座、教室等 「古文書を読んでみよう」 平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月 3 クラス各 10 回 参加者延べ 947 人 安房地域で作成された江戸時代の古文書をテキストとして、くずし字の読み方と地域の歴史を学ぶ初心者向け講座を開催しました。 「わたしの町の歴史探訪—西岬地区—」 平成 27 年 11 月 1 日 参加者 49 名 新・地区展の関連事業として、西岬地区内に散在する文化財等を歩いて巡り、郷土の歴史再発見の機会としました。 「活弁八犬伝」 平成 27 年 6 月 13 日・7 月 11 日 参加者延べ 39 人 南総里見八犬伝の名場面の概要を、錦絵を使いながら活弁方式で分かりやすく紹介しました。 「解説会」 収蔵資料展解説会 平成 27 年 7 月 25 日・8 月 22 日 参加者 49 名 新・地区展解説会 平成 27 年 10 月 24 日・11 月 21 日 〃 56 名 特別展解説会 平成 28 年 2 月 13 日・3 月 12 日 〃 63 名 各種展示の理解をより深めるために、解説会を開催しました。 「講演会」 特別展講演会「江戸時代の藩社会と地域社会」 平成 28 年 3 月 12 日 参加者 94 名 特別展に関連して、江戸時代の小藩の支配や地域との関連について講演会を開催しました。
<p>成果と課題 [○成果◆課題]</p>	<p>【博物館】 ○常設展示に加え特別展、企画展、講座等を開催し、地域の歴史と文化を見直し、新たな発見の機会を提供しました。 ○特別展等に関連した解説会、講演会等を開催し、より深い理解が得られるよう配慮しました。</p>

	<p>○特に小学生程度の低年齢層も興味を持てる事業として、歴史教室「活弁八犬伝」を新たに実施し、幅広い年齢層に博物館を利用する機会を提供しました。</p> <p>◆本館、分館及び他の観光施設等と連携を取り、より一層の入館者増加を図ることが望まれます。</p>
郷土に関する講座の充実 【図書館・中央公民館】	<p>一人ひとりが地域の魅力を十分に認識し、次代を担う子どもたちに地域の魅力を伝え、地域に対する誇りや愛着心を育む場として定期的に開催します。地域で育まれてきた歴史、豊かな自然、人から人へ語り継がれている生活をテーマにした「ふるさと講座」や、「安房地区公民館連携講座」などの開催を通じて、地域活動への誘引、地域への帰属意識や愛着心を育み、まちづくりに参画する人材の発掘も目指します。</p> <p>■講座・展示への図書館資料の貸出・提供</p> <p>■「ふるさと講座」の開催</p> <p>■安房地区公民館連携講座「見たり・聞いたり 安房の国」の開催</p>
実施状況	<p>【図書館】</p> <p>公民館への貸出 2回 30冊</p> <p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと講座」開催（年8回） [405人] ・「安房地区公民館連携講座」開催（年4回） [335人（内館山市民82人）]
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>【図書館】◆講座に合わせて図書館でも関連資料を展示するなどさらなる連携を図る必要があります。</p> <p>【中央公民館】</p> <p>○「安房地区公民館連携講座」は安房の3市1町の公民館が連携し、開催している講座ですが、今年度もそれぞれの市町の特徴を生かした講座を実施することができ、参加者同士の交流を深める場としての役割も果たすことができました。</p> <p>◆「安房地区公民館連携講座」は各市町、年1回ずつ主催することとなっていますが、平成21年度から実施しており、テーマの選定に苦労している市町が出始めているため、今後、関係市町で協議し方向性を決めていく必要があります。</p>

第3節 青少年の生きる力を育む体験活動の充実

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域青少年育成活動を支援するとともに、学校・家庭・地域・関係団体との連携を図り、青少年指導者の育成に努めます。 ・青少年活動の充実を図るため、子どもたちの「生きる力」の醸成やふるさと学習を推進します。 ・児童の健康増進に寄与し、コミュニケーションを図る空間としての安全・安心な児童遊園の維持管理等に努めます。 ・市民も一体となって新成人を祝う機会となるよう、また、生まれ育った「ふるさと館山」の魅力を再認識し、将来の館山を担う人材の確保につながるように、成人式の内容を検討します。 ・小学校の施設を利用して、地域の方々の参画を得ながら、子どもたちが勉強やスポーツ・文化活動・遊びを体験する放課後子ども教室を実施し、豊かな体験の場作りを推進します。 ・子どもたちが自分たちの住んでいる「ふるさと館山」の自然や歴史・文
--------	---

	化を通じて、郷土を愛する心を育むための体験活動を推進します。 ・家庭教育力の向上や、育児不安・子育ての孤立感の軽減を図るため、家庭教育事業を推進します。
--	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
青少年健全育成体制の充実 【生涯学習課】	次代を担う青少年の健全育成のため、青少年健全育成団体及び学校、家庭、地域との連携を図り、その活動を支援します。また、青少年相談員の各種活動を通じ、地区の大人とのふれあいや地域間交流の場の提供に努めます。 ■青少年相談員連絡協議会への支援 ■青少年球技大会・親子写生大会の開催
実施状況	館山市青少年相談員連絡協議会が行う市内10地区また、市全体の青少年を対象とした事業に対し補助を行いました。(親子写生大会は、雨天により中止)
成果と課題 【○成果◆課題】	○各地区で実施される青少年を対象とした事業、連絡協議会で実施する市全体の青少年対象事業を通じ、地域の大人や異学年間との交流、様々な体験機会を提供することができました。 ◆少子化、子どもたちの活動の多様化により、実施事業への参加が減少しています。 ◆同じ子どもを対象として活動を行う子ども会、社会教育関係団体等との連携が必要です。

放課後子ども教室の推進 【生涯学習課・中央公民館】	子どもたちが放課後や週末に地域の人や異学年とのかかわりの中で、社会性や規範意識などを身に付け、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、勉強やスポーツ・文化活動・遊びを体験する放課後子ども教室を実施します。 ■市内全小学校での教室開催 ■夏休み子ども教室、囲碁・将棋大会の開催
実施状況	【生涯学習課】 市内10小学区中、9小学校区で放課後子ども教室を開設しています。また、未開設校1校(館山小学校)の平成28年度からの新規開設を目指し、学校・地域と協議を行っています。
成果と課題 【○成果◆課題】	【生涯学習課】 ○子どもたちへの放課後や週末の居場所作りを行うことができています。 ○地域住民の協力による多様な学習機会を通じ、地域の大人や異学年間との交流、様々な体験機会を提供することができました。 ○地域住民に対して、子どもたちとの関わりを持つ機会が提供できているとともに、地域で子どもを守り・育てる意識の醸成が図られています。 ◆スタッフ不足、児童の対応方法などから、スタッフの負担感が大きくなっているため、スタッフの増員や研修機会の確保が必要です。 ◆学童保育との連携、また、土曜日を活用した体験学習(土曜スクール)の開設についても、併せて検討を進める必要があります。

ふるさと体験活動の推進 【生涯学習課・中央公民館】	子どもたちが、自分たちの住んでいる「ふるさと館山」の自然・歴史・文化などの体験活動を通して学び、郷土を愛する心を育めるよう、教育機関・NPOや市民ボランティアと連携して「たてやまワクワク探検隊」を開催するなど、魅力ある地域資源を活用した事業の展開に努めます。 ■「たてやまいいところ体験教室」の開催
------------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ■昭和女子大と連携し、夏休みの学習「ワクワク・ウキウキ教室」を開催 ■子ども市民大学の充実 ■親子自然体験講座「たてやまワクワク探検隊」の開催 ■沖ノ島探検隊の開催
実施状況	<p>【中央公民館】</p> <p>「たてやまワクワク探検隊」(2回) [123人]</p> <p>「沖ノ島探検隊」(2回) [45人]</p> <p>「夏休みおもしろ教室(星空観察, 安房高化学部, 親子クッキング, 将棋大会)」(全4回) [133人]</p> <p>「大学ジュニアサイエンス」[12人]</p> <p>「将棋道場」(第2, 4土曜日, 24回) [186人]</p> <p>「こどもものづくり教室」(2回) [23人]</p>
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>【中央公民館】</p> <p>○参加者自らが「体験」することで、郷土を愛する心を育めるような多様な学習機会を提供したり、学校の枠組みや学年を超えて、参加者同士が交流する機会を提供することができました。</p> <p>○平成27年度は、新規事業として、中央公民館社会教育指導員による「こどもものづくり教室」では、和紙づくり、スーパー竹とんぼづくりを実施し、事業の充実を図りました。</p> <p>◆今後も、大学やNPO、関係機関と連携し、新たな体験メニューを企画して行くと共に、子どもたちが「ふるさと館山」の魅力を感じ、郷土愛を醸成するきっかけ作りとなるよう継続的な取り組みが必要です。</p>

家庭教育事業の推進 【中央公民館】	<p>家庭教育力の向上を図るため、子育て知識の習得、仲間づくり、情報交換及び地域の中での子育てなどを考える場の提供をします。「家庭教育学級」の開設、「子育て支援講座ハッピーファミリー」の開催など家庭、学校、地域、関係機関と連携し、社会全体で子育てを支援する事業を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■家庭教育学級(幼稚園・小学校単位)の開催 ■子育て支援講座「ハッピーファミリー」の開催 ■親子自然体験講座「たてやまワクワク探検隊」の開催(再掲) ■親子クッキング教室の開催
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育学級」(19学級, 40回) [1,308人] ・「ハッピーファミリー」(40回) [2,296人] ・「たてやまワクワク探検隊」(2回) [123人] ・「親子クッキング」(1回) [37人]
成果と課題 〔○成果◆課題〕	<p>○家庭教育学級は、市内の小学校、幼稚園、こども園で開設されており、現在19学級が開設されています。保護者である学級長を中心として、家庭教育に関する講座や親子、保護者同士の交流を深めるための事業を実施し、親子のコミュニケーション・仲間づくりに成果を上げています。</p> <p>○子育て支援講座「ハッピーファミリー」では、各種の講座や行事、身体測定などを関係課等と連携して実施しており、子育てに関する知識の習得や情報交換、仲間づくりの場として、親の孤独感や育児の悩み軽減にも役立っています。</p> <p>◆家庭環境や地域社会の変化に伴い、家庭教育に関する課題はますます多様化、複雑化しており、これらに対応するためには、多種多様な学習機会の提供のほか、地域や学校との連携、関係機関での連携による子育て支援の強化が求められています。</p>

第4節 ふるさと情報の収集と提供

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと百科たてやま大事典」の充実，情報の更新を図ります。 ・ふるさと情報の収集・提供機能強化のため，博物館・図書館の郷土資料を充実します。 ・集積した情報を有効に活用・発信し，文化活動をはじめ観光立市の推進，まちづくり施策に活かします。 ・歴史・文化などの地域資源情報を洗い出し，整理・活用・発信することで，改めて市民一人ひとりが地域の魅力を再認識し，「ふるさと館山」に対する誇りや愛着心が育成されるよう努めます。 ・博物館・図書館での積極的な郷土資料の収集・保存・提供により，次代の市民に地域の歴史，文化の継承を図り，全国に向けて「ふるさと館山」の魅力をアピールします。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
郷土資料の収集と提供 【博物館・図書館】	<p>市民への学習機会の提供に併せ，広く全国に向けて郷土たてやまの歴史・文化などの地域資源や魅力をPRするという観光的な視点からも，博物館や図書館の郷土資料の収集や提供機能を充実させます。</p> <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館山の歴史・生活文化等に関する調査・研究事業の充実 ・博物館資料のデータベース化と収蔵資料目録の整備・ホームページでの公開 (収蔵資料目録の目標公開点数：約 40,000 点 収蔵資料目標点数：約 70,000 点) <p>■古文書・民俗芸能の調査研究</p> <p>■収蔵資料目録の作成</p> <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土に関する資料について，活字資料のほか，映像資料や音声資料・電子媒体資料など多様な資料を系統的に収集し，提供します。(郷土資料の所蔵目標点数：6,500 点 年間目標貸出点数：310 点) ・地域の機関や団体が発行しているチラシやパンフレットなどの資料を収集し，提供します。 ・図書館専門職等による郷土資料に関する調査研究支援（レファレンス）を実施します。 <p>■郷土資料の収集</p> <p>■レファレンスの実施</p>
実施状況	<p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄付，購入，移管，受託により 5,511 点の郷土資料を収集し，本館，分館合わせての収蔵資料は 80,784 点（受託，借用含む）になりました。 ・受入れ手続きの終了した新規収蔵資料を博物館データベースに登録し，管理しています。 ・展覧会のテーマに合わせ，担当学芸員が地域の歴史，生活文化等の調査を実施しました。 ・前年度の博物館事業の報告をするため，年報（平成 26 年度版）を発行しました。 ・博物館事業の広報，普及のため，博物館報第 90 号を発行しました。 <p>【図書館】</p> <p>郷土資料 所蔵点数 6,748 点 貸出点数 518 点</p>

<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【博物館】 ○貴重な地域資料を収集することができました。 ○資料情報をデータベースに登録することにより、適切な管理を行いました。 ○館山市ホームページ内博物館コンテンツにおいて、適宜、情報を公開しました。 ◆収集した資料を、適切に活用する機会を増やしていくことが望まれます。</p>
---------------------------	--

第5節 生涯学習関連施設の整備

<p>取り組み方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習拠点としての機能を向上させるとともに、利用者に安全で快適な利用環境を提供するため、社会教育施設の整備に努めます。 ・展覧会を中心とする博物館事業の拡充を促進するため、その基盤となる博物館資料の整備充実を図り、来館者増に努めます。 ・図書館電子システムの充実を図り、図書館と近隣の社会教育施設との一体的な活用により、市民サービス及び利便性の向上に努めます。 ・利用者視点や地域づくり視点に立った地区公民館の再編・再配置を検討し、博物館の機能統合を行います。
---------------	---

<p>計画事業名 【担当課】</p>	<p>事業概要 ■実施計画</p>
<p>社会教育施設の整備 【博物館・図書館・中央公民館】</p>	<p>博物館・図書館・中央公民館等の社会教育施設の整備に努め、利用者に安全で快適な利用環境を提供するとともに、学校教育施設との連携を図り、地域における学習の場や地域活動を支える拠点としての機能の充実に努めます。</p> <p>■図書館・公民館の施設・設備の維持管理 ■博物館施設機能の維持管理</p>
<p>実施状況</p>	<p>【博物館】 施設環境を維持するため、老朽化や破損による不良個所の改修工事を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八犬伝博物館（館山城）避雷針改修工事 ・本館P A S（＝地絡開閉装置）、高圧ケーブル交換工事 <p>【図書館】 図書館の施設環境を維持するため、改修及び修繕等の整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館高圧ケーブル等改修工事 ・書架室1階ブラインド交換 ・閲覧室・事務室照明器具一部交換（LED） <p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター(中央公民館) 浄化槽設備交換修繕 揚水ポンプ交換修繕 展示ホール展示用パネル塗装修繕 水道管漏水修繕 ほか ・学習等供用施設 菜の花ホール エレベーター修繕 若潮ホール 冷却塔修繕 ほか ・地区公民館 館山 雨漏り修繕

	<p>那古 エアコン設置工事(会議室) 富崎 エアコン修繕(会議室) 館野 和室畳修繕 ほか</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【博物館】 ○改修工事を実施することにより、落雷、漏電等施設に重大な被害をもたらす事故要因に対応する適切な施設機能を維持しました。 ◆建物、設備の老朽化に伴い、適切な延命化を図ることが望まれます。</p> <p>【図書館】 ○高圧ケーブル等改修工事等の図書館の修繕を行い、施設機能の維持を図りました。 ◆利用者の利便性及び施設の延命や長期的に見た経費削減のためにも、今後も適正な施設整備が必要です。</p> <p>【中央公民館】 ○コミュニティセンターの各種設備の修繕をはじめ、学習等供用施設や地区公民館の修繕等を実施し、利用者の利便性の向上と施設機能の維持を図りました。 ◆各施設とも老朽化が進行しているため、大規模な改修や改築が必要となってきました。また、利用者の安全性や利便性の確保のためにも、抜本的な対策を講じる必要があります。</p>
<p>博物館機能の強化 【博物館】</p>	<p>館山市の歴史・文化や房総半島の漁業に関連する資料の購入・制作等により、常設展示や企画展示の充実に努め、郷土研究の進展を図ります。また、本館・館山城・分館(渚の駅の博物館)の一体化した運営を行うため、3館の機能を統合した効率的な運用と事業展開を推進していきます。</p> <p>■博物館本館・館山城・分館の機能統合による効率的な運営 ■博物館資料の購入 ■地域資料の寄付受入れ</p>
<p>実施状況</p>	<p>・分館(渚の博物館)の施設を管理する商工観光課に、引き続き主任学芸員1名を配置し、効率的な事業展開を図りました。 ・郷土資料の収集 5,511点</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○市民、周辺地域住民の理解、協力により寄付資料を受入れ、収蔵資料の充実が図れました。 ◆収集した多種多様な収蔵資料を適切に保存管理し、今後の展示や郷土研究へ有効に活用していくことが課題になります。</p>
<p>図書館機能の強化 【図書館】</p>	<p>図書館資料の効率的な管理やインターネットを利用したサービスの提供に必要な電子システムの充実に努めます。また知の情報拠点としての機能を向上させるため、隣接する中央地区学習等供用施設(菜の花ホール)との一体的な活用を推進し、開架図書を増やします。</p> <p>■図書館電子システムの充実 ■図書館と中央地区学習等供用施設の一体的な活用</p>
<p>実施状況</p>	
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○インターネットでの蔵書検索・予約等、利用者の利便性が継続して図れました。 ◆システム機能の活用、利用者のニーズに合わせたサービス展開を行うには定期的にシステムを更新する必要があります。</p>

Ⅳ 豊かな文化の振興と歴史の継承

第1節 優れた芸術・文化に親しむ機会の提供

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた芸術・文化に親しむ機会の提供 ・小・中・高校生など、より多くの幅広い市民層に優れた芸術文化に触れる機会・参加する機会を提供するための創意工夫 ・芸術・文化活動を通じた市民同士のコミュニケーションの向上や地域の個性を育む機運の醸成
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
文化活動への支援 【生涯学習課】	<p>「館山市文化祭」・「館山市芸術フェスティバル」などの各種芸術文化活動の発表する場を提供するとともに、芸術・文化の鑑賞や参加する機会への要望にこたえていくために、各文化団体の自主的な活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■館山市文化祭の開催支援 ■館山市芸術フェスティバルの開催支援
実施状況	館山市芸術文化協会が実施する文化祭事業に対する助成（補助）、文化祭開催時の情報発信などの支援を行いました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>○文化祭などの開催を通じ、市民が優れた芸術、文化に親しむ機会を提供することができました。</p> <p>◆各文化団体構成員の高齢化、メンバーの減少などによる活動の低迷が懸念されることから、助成だけでなく幅広い支援が必要です。</p>

第2節 新しい文化の創造

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国大学フラメンコフェスティバル」を継続し、館山市の気候や風土、街並みと調和した魅力あるイベントの展開に努めます。 ・文化団体やサークルとの連携による地域間交流や世代間の交流の可能性を検討します。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
全国大学フラメンコフェスティバルの開催 【生涯学習課】	<p>「若さと活気に溢れた館山市」、「フラメンコのまち館山」といったイメージを全国に発信し、フラメンコをきっかけとした交流人口の拡大を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国大学フラメンコフェスティバルの開催 ■花火とフラメンコの開催 ■フラメンコ事業にかかる情報発信の強化
実施状況	全国の大学生、市民団体、商工会議所、行政が連携し、全国的にも類を見ないフラメンコ事業「全国大学フラメンコフェスティバル」を開催しました。
成果と課題 【○成果◆課題】	<p>○館山市の夏のイメージイベントとして定着し、市外からの来訪者も多く、経済効果も期待できる事業となっています。また、本事業に参加した大学生にとっては、館山市を第2のふるさとという認識をもっている学生も多く、子どもを連れて再訪するなど交流人口の拡大にも寄与しています。</p> <p>◆少子化により大学のフラメンコサークル数が減少していることから、イベント内容、現在の実施規模を維持しながら、OG、OBの参加、他</p>

	自治体で実施しているフラメンコ事業との連携など質を高める工夫が必要です。
--	--------------------------------------

第3節 個性と伝統ある歴史・文化の継承と発信

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の種類や特性に応じた保存・整備事業を計画的に促進します。 ・文化活動をはじめ、観光振興、まちづくりのベースとなる地域資源である文化財の適切な保全活動を推進します。 ・「里見氏の歴史」、「青木繁《海の幸》」を軸とした、歴史・文化交流を推進します。 ・館山市の歴史的特性を象徴する史跡等の国指定を目指し、調査研究を進めます。 ・国指定史跡「里見氏城跡 稲村城跡」について整備を進めるとともに、歴史文化的な観光スポットとするため、情報発信に積極的に取り組みます。 ・館山市指定史跡「館山海軍航空隊赤山地下壕跡」、館山市立博物館本館及び館山城、館山市立博物館分館や海辺の広場を包含する「“渚の駅”たてやま」を拠点に、周遊しやすい仕組みづくりを推進します。 ・民俗芸能の後継者養成・確保のための諸条件の整備や、中断している民俗芸能の復活・再生支援のための方策を検討していきます。 ・地域の生活や産業と密接に関連し、伝承されてきた芸能などの無形民俗文化財を、後世に継承していきます。 ・歴史・文化活動を実践している市民団体の活動を積極的に支援します。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
文化財の保存・整備 【生涯学習課・博物館】	<p>館山市の歴史や文化を正しく理解し、情報発信していく上でかけがえのない財産である文化財を保護・保存・活用することで、館山市の歴史的特性を理解し、正しく後世に伝えるとともに、文化財の種類や特性に応じた保存・整備事業を計画的に推進し、安全な環境で一般公開できる指定文化財を増加させるよう整備します。また、文化財を活用した街づくり、観光振興に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■館山市の文化遺産を活用した観光振興・地域活性化事業の支援 ■「戦国大名里見氏」「南総里見八犬伝」「房総半島の海と生活」をはじめとする歴史・文化資源の情報発信 ■館山市指定文化財「小谷家住宅」保存活用支援事業 ■歴史的建造物の国文化財登録事業
実施状況	<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■館山市指定文化財「小谷家住宅」の保存活用支援事業に対し、「指定文化財保存修理事業補助金」及びふるさと納税を原資とした「小谷家住宅保存活用支援事業補助金」2種類の補助金を交付し支援を行いました。 ■県指定有形文化財「那古寺多宝塔」保存修理事業に対し、「指定文化財保存修理事業補助金」を交付し支援を行いました。 ■H28.2に国登録有形文化財に「小高記念館」（館山市館山95-70）が登録されました。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新・地区展、特別展等の開催及び展示図録の発行により、地域の歴史や文化財などを広く紹介しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・旧県立安房博物館時代から引き継いでいる「安房学講座」（共催事業）の開催により，安房地方の歴史と民俗をテーマとした情報を提供しました。 ・ミュージアムサポーター絵図士の活動の成果である「文化財マップ」によって，地域に点在する文化財等の情報を館山市ホームページ内のたてやまフィールドミュージアムで紹介しました。
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>○文化財の適切な保存，管理を支援することで市民の歴史，文化への意識の掘り起こしや来訪者の増加にも繋がっています。</p> <p>◆文化財の指定件数が増加していくため，適切な保存，管理を所有者（管理者）に行ってもらする必要があります。</p> <p>*小谷家住宅及び那古寺多宝塔修理事業は H26. 27 年度の 2 ヶ年事業であり，今年度末を以って終了します。</p> <p>【博物館】</p> <p>○地域の歴史，文化に関して，幅広い分野の情報を一般の方々に紹介することができました。また，貴重な情報を図録等に集約することができました。</p> <p>◆図録等の印刷物については，その内容をより市民にアピールし，理解していただくため，これを積極的に活用する場を設けることが必要です。</p>
<p>民俗芸能伝承者の育成 【生涯学習課】</p>	<p>芸能などの無形民俗文化財を後世に継承するため，市民の理解と認識を深めるとともに，伝承者の育成，確保を通じて，伝統文化の振興とそれを活用した地域の活性化に努めます。</p> <p>また，特に民俗芸能継承の諸条件の整備や地域の民俗芸能の相互交流を促進し，後継者の確保による館山市の民俗芸能の保護・活性化を強化します。</p> <p>■第 54 回関東ブロック民俗芸能大会の開催支援</p> <p>■たてやま村歌舞伎保存会など民俗芸能保持団体の支援</p>
<p>実施状況</p>	<p>■地域の歴史と深く関わる伝統工芸技術・伝統芸能・民俗芸能等を保存，継承する団体に対し，「館山のふるさと伝統文化支援補助金」を交付し支援を行いました。</p> <p>■市民有志による「後藤利兵衛橘義光生誕 200 年祭」実行委員会が実施する「後藤利兵衛橘義光生誕 200 年祭」に対し補助金を交付し，支援を行いました。</p>
<p>成果と課題 〔○成果◆課題〕</p>	<p>○各種大会への参加支援を通じて，民俗芸能保持団体間の相互交流が促進されました。また，補助金交付により，それぞれの団体，地域において，活動の活性化につながるきっかけとなっています。</p> <p>◆伝承者の減少，高齢化，さらに活動資金の不足等により，民俗芸能保持団体の存続が危ぶまれることから，支援方法を含め，継続的な検討，各団体との情報交換が必要です</p> <p>◆「館山のふるさと伝統文化支援補助金」は，H26 から H28 年度までのサンセット事業であるため，H28 年度の早い段階で補助金交付の有効性の有無について検証し，継続事業としての可否を判断する必要があります。</p> <p>*「後藤利兵衛橘義光生誕 200 年祭」に対する補助金は H27 年度のみのものであります。</p>

V 教育行政の充実

第1節 開かれた教育行政の推進

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の透明性を高めるため、教育委員会議や活動内容を広報やインターネット等で積極的に公表します。 ・各学校（園）における特色づくりを支援するため、学校（園）予算の計画的・弾力的な執行に努めます。 ・校長がリーダーシップを発揮し、特色ある学校づくりを推進するため、校（園）長の意見具申を最大限に尊重しながら人事配置を行うなど、校（園）内の組織体制づくりを支援します。 ・各学校において特色ある教育活動を展開できるよう、教育内容や指導方法の工夫改善に関わる教職員の配置や指導に努めます。
--------	---

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
市民に開かれた教育行政の推進 【教育総務課】	広報やインターネット等を活用し、教育委員会会議や施策、学校教育、社会教育（文化、スポーツ等）の幅広い分野の活動を、積極的にわかりやすく情報提供します。 ■教育委員会議の議事録概要公開（ホームページ） ■教育委員会会議の公開
実施状況	・広報やインターネットなど各種広報媒体を活用し、教育委員会会議や学校教育、社会教育の活動状況の情報を積極的に提供しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○教育委員会会議の要旨を公開することにより、審議内容などを広く住民に周知することができました。

開かれた特色ある学校（園）づくりへの支援 【教育総務課・こども課】	各学校（園）における特色づくりを支援するため、学校（園）予算の計画的・弾力的な執行に努めます。 ■学校（園）予算の計画的・弾力的な配当
実施状況	【教育総務課】 ・学校運営の特色づくりを支援するため、年度当初に消耗品、燃料費等一定項目の予算を学校に一括配当しました。 【こども課】 ・園運営の特色づくりを支援するため、年度当初に消耗品等の一定項目の予算を園に一括配当しました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	【教育総務課】 ○学校長の裁量による計画的・弾力的な予算執行をすることができました。 【こども課】 ○園長の裁量による計画的・弾力的な予算執行をすることができました。

第2節 主体的な教育行政の展開

取り組み方向	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育行政課題に対応するため、毎月の定例会や臨時会を開催します。 ・館山市教育基本計画に基づいた教育行政全般の点検・評価を実施し適切な振興管理を進めていきます。
--------	--

計画事業名 【担当課】	事業概要 ■実施計画
教育委員会運営の 充実 【教育総務課】	毎月一回の定例会、必要に応じて臨時会を開催し、様々な教育行政課題に迅速に対応します。 ■教育委員会会議の開催 ■教育委員による社会教育施設や学校（園）の訪問
実施状況	・様々な教育行政課題に対応するため、毎月の定例会や臨時会を開催し、審議しました。 定例会 12回 臨時会 2回 議案 47件 ・教育委員による小中学校や幼稚園への訪問を実施し、各学校で抱える教育課題など意見交換を行いました。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○教育現場等の実態を把握することにより、よりよい教育行政の推進に向け、活動することができました。 ◆教育委員の施設訪問の回数・時間など、更に検討していく必要があります。

事務局の教育行政 能力の強化 【教育総務課】	教育委員会の企画・指導・助言機能を充実させ、地域住民の多様な要望にこたえるきめ細かな教育行政を展開するため、指導主事、学芸員、司書など専門職員を配置し、事務局の教育行政能力の強化に努めます。 ■専門職員の配置等の促進
実施状況	・教育委員会事務局に主任指導主事2名、指導主事2名が配置された。
成果と課題 〔○成果◆課題〕	○学校教育の指導助言を行い、教育力向上のための授業指導や学校からの様々な相談・課題に対応することができました。